

講師と「二人三脚」重要

首都圏や関西、九州で小中高生向け学習塾268教室を運営。講師を地元の現役大



ひと

国の難関大の合格者数は3倍超に伸びたという。

福岡市内では6教室を展開し、生徒の約6割は大学進学

学生が務める

のが特徴だ。

最適なカリキ

ュラム策定や

講師の指導方

法を強化し、

この10年で全

東京個別指導学院(東京)

齋藤 勝己社長

を目指す高校生だ。近年は大学入試改革に加え、早期合格を望む学生の増加もあり推薦入試の割合が増加。「一般入試対策だけでなく、生徒に合わせて学内試験や面接対策などを組み合わせることができるのが強みだ」と話す。

デジタル化の波は教育現場にも押し寄せるが「講師と二人三脚で勉強に取り組むことで、受験や進学への意欲を維持できる。人との関わりの重要性は変わらない」